

広
報

むせんとう



No.54 1-31

相双地区電気工事協同組合

発行・編集／相双地区電気工事協同組合
〒975-0033

福島県南相馬市原町区高見町2丁目7番地

TEL (0244) 22-1951(代)

URL <http://www.ssdenkyo.or.jp>

E-mail info@ssdenkyo.or.jp



平成27年

安全祈願祭

新年会開催



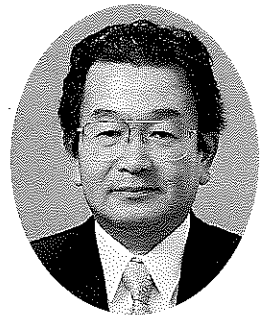
平成27年の安全祈願祭・新年会が1月23日(金)、南相馬市ラフィーナにおいて開催されました。

はじめに、相双地域雇用推進事業による人材育成スキル向上セミナーとして、南相馬市生涯学習インストラクター 紺野 幸 氏を講師に招き、「二宮尊徳と上杉鷹山に学ぶもの」をテーマに記念講演が行われました。

次いで、本年の工事安全を願い安全祈願祭が執り行われた後、会場を移し新年会が開かれ、青田理事長より年頭の挨拶の後、来賓を代表して東北電力(株)相双営業所 星 幸一 所長より御祝辞をいただき、福島県立テクノアカデミー 浜 渡邊 昭一 校長の御発声により乾杯が行われ、全員和やかにお互いの親睦を深めながら盛会裡に終了いたしました。

謹賀新年

- | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|------|------|------|-----|
| 監事 | 監事 | 監事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 専務理事 | 副理事長 | 副理事長 | 副理事長 | 理事長 |
| 志賀 | 佐藤 | 森保 | 但野 | 横山 | 横山 | 高山 | 阿部 | 阿部 | 阿部 | 多田 | 阿部 | 渡部 | 八卷 | 青田 |
| 正 | 光義 | 雄 | 晴美 | 久勝 | 政治 | 克男 | 三芳 | 展才 | 穰治 | 昌彦 | 正隆 | 純 | | |



新年のご挨拶

理事長 青田 純

平成二十七年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様方におかれましては、平成二十七年の新春を健やかに迎え、お喜びの声を申し上げます。また、日頃より組合事業の推進に特段の支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、消費増税の影響もありアベノミクスの効果も一服感をぬぐえず、十月には日銀が行ったサプライズ金融緩和も国内経済がデフレから脱却し、成長基調に移行、消費が拡大するほどの効果はでませんでした。しかし、金融緩和による円安により、一部輸出関連企業においては大きな利益を得たところもあり、国内企業や地域間、所得等に格差が拡大し、格差問題が顕著

化した一年でもありました。

県内においては、復興需要を背景とした建設業及びその関連企業を除き、消費増税、円安による原材料の高騰、風評被害等により前年より悪化しており、相双地域においても同様な状況にあります。

今年政府においては、経済最優先の方針を打ち出し、日本の将来を見据えた改革断行を行うとして、震災からの復興や地方創生を課題に挙げております。

また、県においては廃炉に集結する世界レベルの先端技術を活用して、浜通りに革新的な新産業をうみだす「イノベーション・コースト構想」を樹立しその具体化を図るとしております。具体的施策の早期実施を強く期待するものであります。さて、東日本大震災及び

原発事故から早や四年が経過しようとしておりますが、相双地域の約半分は全く復興が進んでいないといつても

よく、先が見えない状況におかれております。このことは組合員の事業再開や将来の方針決定に大きな影響を及ぼし、現在も十四事業所が休業、十八事業所が避難先で再開してはいるものの本格的な事業再開ができていない大きな要因となっているところであります。

また、昨年九月に六号国道が通行可能となり、今年三月には常磐自動車道が全線開通の運びとなっており、組合管内の南北分断が改善され、組合事業の活性化に大きく寄与するものと期待をするとともに、相双地域の電気工事業界にとつては市場の拡大と競争の激化をもたらす諸刃の剣

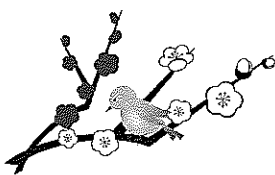
ともなりうるものであり、その対応をしっかりとしていかなければならないと考えるところであります。

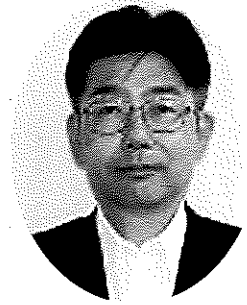
我々電気工事業界を取り巻く環境は、今大きな変革期にあります。温暖化防止に向けた再生可能エネルギーへの転換、省エネ、電力システムの改革等々、変革に伴う新しい電気設備が次々と生み出されております。LED照明、定置型蓄電池、電気自動車用充電設備、ヘムス等をはじめITの活用を図ったものなど、また、大きなものでは、現在、会津若松市で実施されているスマートコミュニティ事業は、太陽光発電やバイオマス発電による電力の地産地消をめざし、平成二十七年年度末まで三百戸との契約を目標しております。

電気工事に携わる私どもは、こうした時代の趨勢を的確に見極め、知識や新技術の習得はもとより、社会の基盤を支えているという誇りと自負を持って日々仕事に取り組み、地域の一日も早い復興に貢献していかなくてはならないと考えるところであります。

今年も役員一同、組合の使命、役割を果たすべく懸命に努めて参る所存であり、ご支援ご協力をよろしくお願い申し上げますとともに、関係各位の今後とも変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願いを申し上げます。最後に、新年のご挨拶として、新年のご挨拶といた

し、新年のご挨拶といたし、組合といたしまして昨





新年のご挨拶

東北電力株式会社 相双営業所

所長 星

幸 一

新年明けましておめでとうございます。

相双地区電気工事協同組合の皆さまには、ご家族ともども健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は弊社事業に対し格別のご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、あの震災から4回目の新年を迎えましたが、当地では現在も震災の影響は続いており、今なお多くの方々が避難生活を余儀なくされ、日々元の生活を取り戻すために必死で努力されていますという状況です。当営業所管内の販売電力量をみましても、いまだ震災前の6割程度にとどまるなど、復興までの道のりはまだまだ遠いというのが実感です。

こうした中、本年は明るい話題もあります。災害公営住宅の整備や防災集団移転などの動きが徐々に形となつて表れてきているほか、3月には常磐道が全線開通し、物流の改善により浜通り地方の復旧・復興が着実に進むことが期待されるほか、4月からはJRグループ各社が福島県で「福が満開、福のしま」をテーマに観光キャンペーンを実施することとなっております。

さらには、世界レベルの先端技術を種に革新的な産業を生み出す「イノベーション・コースト構想」の具体化など、復興に向けた動きが本格化しております。

こうした動きに対して、当社は、引き続き安定供給や地域貢献といった使命をまっとうすることで、地域の復興・自立に向けての取

り組みを加速してまいりたいと思えます。

来年からは電気の小売全面自由化が実施され本格的な競争の時代に入ります。当社は地元電力会社として、引き続きお客さまから選んでいただき、地域の方々のお役に立てるよう頑張つてまいります。

そして、「低廉で安定的な電気をお届けする」という使命を果たすことで、「電気はやつぱり東北電力」というだけでいいだけでなく、しっかりと事業を展開してまいりますと考へておりますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆さまにとりまして、新年が幸多き1年となりますよう心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

高効率な省エネシステムで節電に貢献

＜空気熱を利用
快適&エコ

エコキュート

高効率エアコン

IHクッキングヒーター

環境にやさしい
高効率ヒートポンプエアコン

安心・クリーン
パワフルで
スピーディ

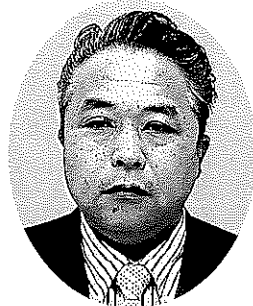
暮らしを一緒に考える

省エネライコ

東北電力(株) 相双営業所

TEL 0244-22-2165

FAX 0244-23-5234



新年のご挨拶

相双電気工事協同組合

青年部長 志賀 秀章

明けましておめでとうございます。

日頃皆様方には、相双地区電気工事協同組合青年部の活動に対しまして深い御理解と、暖かい御支援を賜り、青年部を代表いたしまして厚く御礼申し上げます。さて、昨年は12月6日より常磐自動車道が浪江町までかなり強引に開通いたしました。復興に向けての除染作業や、ガレキの撤去インフラの復旧に弾みがつくことと思えます。双葉郡以外はかなり復興が進み、避難地区の指定解除エリアが広がっており確実に復興が進んでいる印象です。

しかし、復興に向けての第一歩となる除染作業やガレキ撤去による廃棄物の一時仮置き場の確保がなかなか思うように進まないところも有るのが現状の様であり、まだまだいろいろ問題

もが山積している状況にあります。

昨年も書きましたが、あの震災から月日が経ち、だいぶ落ち着きを取り戻してきている感はありますが、沿岸部などまだまだ震災の爪痕が残っていると見受けられます。そして、今現在も耐え難い避難生活を余儀なくされている方々が大勢いらつしやることを忘れてはなりません。

さて昨年は、消費税が引き上げられ、物価が上がり、デフレシジョンの解消はしたのでしょうか、その反作用のインフレーションが気になる場所です。円安に伴う景気の上向きは一部大手企業に留まっている印象がありますが、実態としましてはとてども景気回復とまでは感じにくい状況に有ります。我が電気工事業といたしましては、復興住宅の特

需や進出してきた大手ハウスメーカーによる物件の増加といった需要があり好調と思われまます。

この様な中で、私達電気工事業界としては、全日電工連が提唱されている需要家の立場に立った「提案型技術営業」をより一層推進し、付加価値の高い新しいストック需要を掘り起こしていくような仕組みを構築していくことが重要でないかと考えております。

また、社会構造の変化と規制緩和による新しいルールもできつつあり、我々青年部は皆で情報を共有し、向上心と行動力をもって多様な変化に対応していけるよう日々努力を積み、常に未来を見据え、これからの時代に対応しうる電気工事業界の基盤を築くことが我々青年部の役目であると確信しております。

以上のことを踏まえ、青年部会員が更なる向上を図れる様な活動を展開するため、新規会員の勧誘を積極的に展開し組織強化を図り、多くの仲間とともに青年部活動を推進していきたいと考えております。また会員相互の親睦交流、親会員・関係機関さらには家族を含めた親睦交流を深めていきたいと考えておりますので、会員の皆様、関係各位の御支援・御協力をよろしくお願い申し上げます。

青年部

復興に向けた電気設備の点検ボランティア活動

青年部では、復興に向けた地域貢献活動を模索しておりましたが、今般、(一財)東北電気保安協会福島事業本部原町事業所並びに福島電気安全サービスのご協力を頂き、8月の電気使用安全月間啓蒙活動の一環として、電気設備の安全点検のボランティア活動を8月22日に実施しました。



は、南相馬市鹿島区内の幼稚園、保育所施設並びに公会堂の電気設備を点検しました。点検にあたっては、日頃のノウハウを伝授いただき、目視点検、漏電チェック等により施設の点検を無事終えることができました。ご協力ありがとうございました。

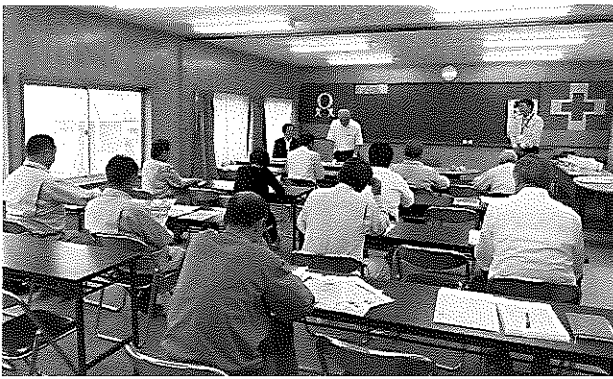
ボランティア点検については、今後も継続して活動を行っていく予定です。

提案型技術営業の推進

組合では提案型技術営業推進のため様々な取り組みを行っております。

9月25日(木)には、すぼっと電化リースについて、提案型技術営業推進のツールとして活用すべく、東北電力(株)相双営業所、(株)Eライフ・パートナーズを講師に説明会を開催しました。

また、広報活動として、そうま市民祭り(11月1日)、原町あきいち(11月



3日)の地域イベントに参加して、東北電力(株)相双営業所並びに三菱電機住環境システムズ(株)にご協力をいただき、省エネ電化設備の展示、広報、電気設備相談を行い提案型技術営業の推進活動と組合のPR活動を展開しました。

また、11月22日・23日には南相馬市イオンモールで開催された東北電力(株)リフォームフェアに参加し電気工事相談並びにI日対応鍋の展示販売を行いました。

電気使用安全月間

「キャラバン隊による広報活動の実施」



盆踊りパレードでの広報活動

毎年8月1日から31日の1ヶ月間、経済産業省の主催する「電気使用安全月間」に呼応し、電気使用の安全に関する啓発を行うことを目的に、当組合では技術安全委員会が中心となり、東北電力(株)相双営業所、(一財)東北電気保安協会原町事業所と協力して啓蒙キャラバン隊を編成し広報活動を展開しました。

7月26日(土)南相馬市原町区の相馬野馬追宵乗り祭りにおいて、盆踊りパレードに参加し、電気使用安全月間並びにオール電化

の大うちわで行進し、沿道の見学者にうちわを配布し広報活動を展開しました。また8月1日には、南相馬ジャスマールにおいて、街頭キャンペーンを実施、電気相談コーナーを設置し、電気使用安全のほりを立て、電気使用安全チラシ、共同保守管理業務パンフレット及びうちわ・ティッシュを通行人に配布して電気使用安全に関する啓蒙活動を行いました



南相馬ジャスマールでの街頭広報活動

CALS/EC・CI-NETをサポートします

利益の向上、省力化に貢献

工事原価管理システム

業界初、納品データを電子メールで配信、入力手間削減
随時現場の進捗状況が把握出来ます。

CALS対応CAD、安心サポート

CADシステム

諸官庁を始め多くの電設業者さまから好評のCAD、
Auto-CAD、DRA-CAD、JW-CAD等を直接読み込み



原町営業所 南相馬市原町区北原字本屋敷 153 ☎ (0244) 23 - 6106 相馬営業所 相馬市椎木字北原 104-1 ☎ (0244) 35 - 6350 (代)
本社 宮城県岩沼市押分字南谷地 86-5 ☎ (0223) 25 - 6701 FAX (0223) 23 - 7401 <http://www.tdz.co.jp/>

視察研修の開催

平成 26 年度視察研修を 11 月 20 日 (木) ~ 21 日 (金) にかけて、組合員及び関係者 27 名が参加し開催しました。

初日は、東北電力(株)新仙台火力発電所を見学。新仙台火力発電所は東日本大震災で津波に襲われ大きな被害を受けたが、9 カ月後は東北管内で最も早く復旧に漕ぎつけました。はじめに

発電所の概要について説明を受け、次いで、震災当時の状況などについて話しがありました。会議室壁には津波の跡が今も残っていました。

ついで、新仙台火力発電所 3 号系列の建設現場を見学、ガスタービンと蒸気タービンを使ったコンバインドサイクル方式による世界最高水準の高効率発電所となります。



東北電力(株)新仙台火力発電所 概要説明

また東北電力としては初の LNG タンクを併設、建設中のタンク内部を見学。LNG 船が直接着岸して燃料を供給する全長 470 メートルの栈橋の建設状況を見学しました。また発電所では、東日本大震災の教訓を踏まえ電気設備は 2 階以上に設置し、海側は宮城県が計画する高さ 3 メートルの



東北電力(株)新仙台火力発電所 LNG 栈橋建設現場視察

防潮堤と、高さ 5 メートルの盛り土で津波の直撃を防ぐ津波対策等について見学しました。

東北電力(株)新仙台火力発電所見学後は、東北自動車道にて一路北に向かい、えさし藤原の郷を見学の後、宿泊地の岩手県盛岡市つなぎ温泉へ到着、日頃の疲れを温泉で癒し懇親会は、全員和やかにお互いの親睦を深めながら盛会に行なわれました。

二日目は、岩手県滝沢市にある(株)インターセントラル(株)を見学、放射冷暖房システムについて、研究所にて概要説明を受けた後、モ

デルルームを見学体験しました。帰路の車中ではお茶飲み話がつきず、楽しい時間を過ごし親睦交流を深めました。

見学にご協力いただきました、東北電力(株)新仙台火力発電所並びに(株)インターセントラルの皆様には、お忙しい中誠にありがとうございます。

ございました。また研修運営にあたりましては、東北電力(株)相双営業所のご支援ご協力をいただき誠にありがとうございました。

今後も厚生委員会では、趣向を凝らした事業を計画いたしますので組合員皆様のご参加をよろしく願います。



岩手県栗石町 小岩井農場での集合写真

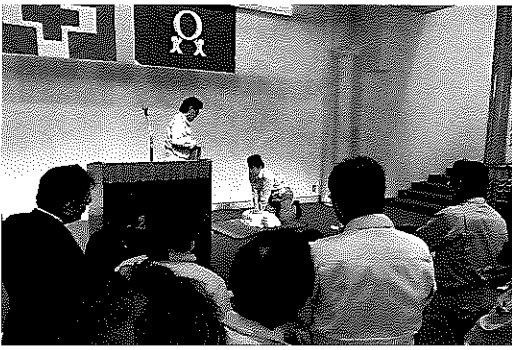
安全協会

災害ゼロ誓い安全大会を開催

福島県電気工事相双地区安全協会では、12月2日(火)南相馬市ロイヤルホテル丸屋において会員64名が参加し、安全意識の高揚を図り災害のない健康で明るく活力ある職場づくりを目指す安全大会が開催されました。

大会に先立ち、相馬地方広域消防南相馬消防署 志賀毅救命係長を講師に迎え「救命救急AEDの使用について」をテーマに記念講演が行われた。

大会では、八巻正隆副会長による開会の後、青田純



AED実演 相馬地方広域消防南相馬消防署 志賀毅救命係長

会長、顧問の東北電力(株)相双営業所 星 幸一所長の挨拶が行われ、会員事業所代表の3事業所より、ゼロ災活動の発表が行なわれました。

【安全ゼロ災活動発表者】

(有)武山電設 武山 剛
当社のゼロ災活動について
旭電設工業(株) 坂脇基伸
我が社が行っている安全教育
恒栄総合設備(株) 菅野 満
当社の安全活動について

続いて、大会宣言(案)を関場 久理事が力強く読み上げ、基本ルールの意識を一人ひとりまで浸透させ、「わが職場からは絶対に労働災害は起こさない、起こさせない」という思いを全員で共有し、安全最優先の職場風土作りを作り上げていくことを決意する大会宣言を採択しました。次いで、佐藤勝彦理事のもと平成26年の年間スローガン『安全意識は命綱 しつかり締めて 目指そうゼロ災』を全員で指差し唱和しました。

当社のゼロ災活動について



(有)武山電設 武山 剛

始めまして、私は、武山電設の武山 剛と申します。宜しくお願いします。

我々が厳しい競争の中で生き残っていくためには、常に品質やコスト・納期・工期・省エネなどに知恵を出し合い工夫を凝らして、日々の改善を積み上げながら、業績の向上に結びつけなければなりません。それは、安全活動についても一緒であり最優先事項と考えます。設備や機器の安全対策を進めたり、危険予知活動やリスクアセスメント、ヒヤリハット活動、指差し呼称、作業手順書の作成など、いろいろな安全活動に取り組んでいても、ときどき事故やケガが発生しているようでは、安全活動がうまく機能しているとは言えません。事故やケガのない状態を何十年も続けなければ、安全活動が十分に機能しているとはいえないのではないのでしょうか。設備や機器の安全対策とともに、安全活動についても問題点を見つけて、みんなで見守り

を出し合いながら、小さな改善を積み上げる必要があるのではないのでしょうか。それでは、当社のゼロ災活動について発表させて頂きたいと思っております。日常の安全活動の中で次の4項目がわが社の主な活動内容であります。1・作業現場に入る前の危険個所のピックアップと準備及び対策

所をお互い問いかけ合う活動を行っております。3番目ですが震災以降の特殊な環境下で今までにない工事量となっております。日常の作業時間内で体に負担がかからない能力的かつ無駄のない作業計画を日々考え実践致しております。事前の十分な段取りがもつとも重要であると考え、発注元担当者との綿密な打合せを心がけ、休憩時などに皆で相談し行っております。4番目の事故事例の有効活用ですが当社では、安全意識を高め、維持継続していく上で一番重要であると考えています。組合から頂いた事故報告を朝礼にて説明し、なぜ起きてしまったのか皆で考えています。主な活用方法としては、季節単位でその時期に発生した事故事例をまとめて報告・連絡・確認をする場を設けています。特に夏場の感電・熱中症、冬場ですと凍結による交通事故・突風などは、毎朝注意喚起をおこなっております。以上の内容にて皆で確認し合いながら安全への意識の向上をはかっております。以上で安全活動についての発表を終わるとまだまだ当社の安全意識は、不足していると言わざるを得ないのが現状です。今後

これら4項目について簡潔の説明させて頂きます。1番目ですが現調の際に危険箇所や危険予知予測を強く意識し、ピックアップすることで事前に必要な保護具や防具等を準備確認しております。ただし、独りよがりではいけないので朝礼の際に職人さんの意見も大いに取り入れて対策致しております。2番目ですが、建築主体工事については、元請会社の指示に従ったKY活動を行っております。又、引き込工事の現場では、工事場所ごとにKYを行い注意喚起を行っております。そして、一番おびなりに成りがちな一般木造住宅については、現場に入りすぐ作業するのはなく、現場内を作業員と巡視してから作業方法や危険箇

我が社が行っている
安全教育旭電設工業(有)
坂脇基伸

は、更なる対策とアイデアを模索し実践することで当社のゼロ災を継続して行きたいと思えます。ご清聴ありがとうございます。

こんにちは、旭電設の坂脇です。

先日は、安全衛生で表彰を頂きました。ありがとうございます。おかげで、このような発表をすることになりました。重ねて御礼を申し上げます。

私の仕事は、おもに現場の代理人として現場の施工管理・工程管理・そして安全管理を行っております。本日は、わが社が無事故で工事現場を進めるうえで行っている、安全教育を発表をします。

まず工事が受注できましたら、作業員が現場に乗り込む前に、送り出し教育を行います。あまり聞き慣れない教育ですが、新規の現場に入場してから1週間以内の事故が大変多いそうで、知らなかったとか、聞いてなかったという

事故が、起らないように行います。現場代理人または、安全担当者が事務所現場の概要説明・現場でのルール・安全の心構え等の教育を行います。そして、作業現場に送り出すという教育です。この教育を行うことで、何の知識もなく新規の現場に入るよりも、多少なり現場の流れ・現場のルールがつかめ、スムーズに乗り込むことができると思います。次は、新規の現場に乗り込んだ場合、現場で新規入場教育を行います。これは皆さんも行っていると思います

が、新規入場のアンケート・現場概要説明・非常時、災害発生時の対応・緊急時の連絡先・現場の注意事項・立入禁止場所等を周知させる教育です。この教育を行うことで、現場独自の守る事・現場の流れ・危険箇所・緊急時の対応等が解るので、大変重要な教育だと思えます。あと現場を進めていくうえで行う教育は、安全訓練です。これは、月の半日以上というくりがあり、わが社では、安全衛生ビデオを見て検討会を行います。時間を有効に使うには大変効果的です。後は、事故事例の検討会・イラストを使ったKYの検討会などを行います。なかなか1回に半日以上

の時間をかけることは難しいため、2回3回に分けて行います。このように、安全訓練を行うことで、もしもの場面に遭遇した時に、安全訓練で行ったことが生かされ対処できれば、よいと思えます。

以上がわが社が無事故で現場作業を進めるうえで行っている、安全教育です。今後ますます安全教育を充実させ、ゼロ災活動を進めて、絶対に事故を起こさないと強い決意を持ち無事故で工事現場を竣工させたいと考えております。ありがとうございます。

当社の安全活動について

恒栄総合設備(株)
管野 満

震災以降、建設業界を取り巻く状況も大きく変わりつつありますが、その変化の中で安全については気を抜かず、妥協せず、取り組んでいかなければならないと考えます。今年度、約10年ぶりに高卒の新入社員が入社してきました。まだ工具の扱い方も慣れない中で一生懸命作業しています。

技術的な面は勿論のこと、安全面についても徐々に教育していき安全無くては良い仕事は出来ないということも学んで欲しいと思います。今現在下は19歳、上は70歳まで多くの社員、協力業者様に支えられ仕事をこなす毎日です。その中で毎朝の健康チェックは確実にしたいと考えます。

朝礼打合せ時には体調が優れない場合は自己申告してもらい状況によっては休息をとってもらおう、作業中でも具合が悪いと感じた場合はすぐに報告する、といったようにこまめにチェックすることが大事だと思えます。体調が万全でない状況で仕事をしても効率も上がらず、却って事故を起こす可能性が上がってしまうからです。作業員の配置にしても、慣れない作業は一人でさせず、熟練者と一緒に付いてその作業に慣れさせる、高齢者には高所作業をさせない、など適正配置に努め安全確実な作業を心がけます。資格が必要なクレーン、玉掛け作業、高所作業車等の操作についてはいつでも資格証を提示できるように携帯するように徹底させます。安全保護具については、胴綱、安全帯の使用前点検を実施し、不良箇所があれば絶対に使用させない、

絶縁保護具に關しても耐圧試験に不合格のものは使用しない等、勿体ないから、まだ使えるからといって使用したことは遅いのですぐに廃棄処分になります。今までお話しした安全対策は基本的な事ではあります。それを毎日継続させる、全作業員に理解してもらうことは容易ではありません。それでも途中で投げ出さずに基本に忠実に地道に進めていきたいと思えます。一度事故が起きてしまえば本人は勿論のこと、その家族にも大きな傷を残すことになり、会社としても社会的、刑事的責任を負うことになり、事どころではなくなってしまう。普段の簡単な作業でも死の危険が伴う電気工事です。簡単な作業だからと、慣れた作業だからと安全面の配りを怠って事故を起こしてからは遅いのです。この場では書ききれませんがまだまだ安全については対策する必要があります。社員総出で安全とはどういうことなのか、無事故無災害を継続させるにはどのような活動をしていけば良いのか考えていき、絶対に事故は起こさないんだという信念で仕事をい

きたいと思えます。

引込線工事研修会の実施

統一カリキュラムに基づく平成27年度引込線工事技能訓練が11月11日、12日の2日間、東北電力(株)相双営業所より講師を迎え、東北電力(株)総合研修センターにおいて、受講者計60名が参加して行われました。

この訓練は、引込線委託工事における施工体制の見直しにより、低圧引込線工事を安全かつ適正に施工できる技能を修得するとともに訓練を通じ安全意識の高揚を図る目的で、引込線委託工事会社及び新規に指定申請を行う会社は、次回更新時期までの3カ年の間に、原則として1回以上の訓練を受講することが義務付けられ、相双地区安全協会が主催で実施するものがあります。

技能訓練は、座学では、(1)安全管理について(2)電力量計工事について(3)CT付計器工事について(4)引込線委託契約の更新について(5)引込線工事デモンストラーションな



電気技術総合コンサルタント!!

自家用電気施設のことは、お気軽に、ご相談下さい。



一般社団法人

東北電気管理技術者協会

- 協会本部 仙台市青葉区花京院二丁目11 プレシーザ仙台ビル ☎022-261-6015
- 福島県支部 いわき市平赤井比良3-20 ☎0246-21-5516
- 福島電気管理センター 福島市佐倉字台26 ☎024-593-1266
- 郡山電気管理センター 郡山市安積町荒井字北大部5-20 ☎024-946-2461
- 会津電気管理センター 喜多方市塩川町会知字八幡町3050-1 ☎0241-27-7664
- 相双電気管理センター 南相馬市原町区仲町一丁目157 ☎0244-22-2817
- 白河電気管理センター 白河市本沼西ノ内60-1 ☎0248-22-1568
- いわき電気管理センター いわき市平泉崎字南集25-3 ☎0246-34-5551

電気工事用資材と産業用機器

太陽光発電システム・エコキュート・高機能エアコン

◆主要取扱メーカー◆

- | | |
|----------------------|-------------|
| パナソニック エコソリューションズ(株) | オーデリック株式会社 |
| シャープアメニティシステム株式会社 | 大光電機株式会社 |
| 東芝ライテック株式会社 | イワブチ株式会社 |
| 三菱電機住環境システムズ株式会社 | 株式会社ニチフ |
| 岩崎電気株式会社 | テンパール工業株式会社 |
| 古河エレコム株式会社 | 電成興業株式会社 |
| 矢崎総業株式会社 | マスプロ電工株式会社 |
| 住電日立ケーブル株式会社 | 未来工業株式会社 |
| 日東工業株式会社 | 大崎電気工業株式会社 |
| 春日電機株式会社 | オムロン株式会社 |
| 株式会社戸上電工業株式会社 | 住友スリーエム株式会社 |
| ネグロス電工株式会社 | TOA 株式会社 |



岡田電気産業株式会社

OKADA

岡田電気産業株式会社 南相馬市原町区上洪佐字原田 178(〒975-0034)
 TEL(0244)22-5105(代) FAX 23-6761 携帯 090-3364-7921
 本社/いわき市平谷川瀬字明治町 27(〒970-8625)
 TEL(0246)25-6111(代) FAX 25-6101
 営業所/福島県 13 茨城県 16 東京都 2 神奈川県 2 千葉県 3 埼玉県 4
 群馬県 1 栃木県 6 新潟県 5 山形県 1 住設 17 営業所
<http://www.okadad.com>

換気扇・照明器具・空調機
スマート電化品・太陽光発電



三菱電機住環境システムズ株式会社

福島支店

〒963-0547 郡山市喜久田町卸1-76-1

TEL(024)959-6060 FAX(024)959-6066

“あんしん”は、中小企業の標準装備でありたい。

あんしん財団

東北支局:仙台市青葉区本町1-1-1 三井生命仙台本町ビル
 郡山支所:郡山市駅前1-14-21 郡山花椿ビル
<http://www.anshin-zaidan.or.jp/>

☎ 0120-311-816

2014-0039-AD-120

「信頼と創造」

ダイヘンは、その関係する人々との信頼を大切に、常に新しい価値の創造を行うことによって、健全な成長を目指すとともに、社会の発展に貢献します。

DAIHEN **ダイヘンヒューズ株式会社**

〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央 4 丁目 7 番地 7
株式会社ダイヘン東北支社内
TEL 022(218)1377 FAX 022(218)0621

TOSHIBA

人と、地球の、明日のために

地域と共に歩む

東芝電材マーケティング株式会社

東北支社福島支店 〒960-0102 福島市鎌田字卸町 24-2
福島営業所 TEL (024) 553-4165
FAX (024) 553-4169

オーナーズプラン パートナーズプラン 総合保障プラン 特定退職金共済制度
経営者年金共済制度 業務上補償プラン 従業員災害補償プラン(Jプラン)



福島県中小企業団体中央会
共済制度担当



三井生命保険株式会社 相双営業部

〒975-0039 南相馬市原町区青葉町 1-162-16 青葉ビル 2F
TEL:0244-24-3050 FAX:0244-24-5399

B-26-1167 (H26.5) 使用期限 H27.3



まとめておトク!

自動車保険が!



賠償責任保険も!

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
代理店

有限会社 **トラス**

〒975-0032 南相馬市原町区桜井町 1 丁目 261
TEL:0244-23-0803 FAX:0244-25-4631

「安全と安心・信頼」をテーマに
社会のニーズに貢献するニチアン



日本安全産業株式会社

東北支店

仙台市若林区荒井字丑ノ頭 23-24

電話(022)390-5303 FAX(022)288-2022

Panasonic

器具はそのまま明るさ選べる、
一体型LEDベースライトに
20形・110形新登場。

NEW 20形

一体型LEDベースライト

iDシリーズ

40形

NEW 110形

パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 北海道・東北電材営業部 福島電材営業所
〒963-8024 郡山市朝日2丁目5番15号 TEL.024-939-7731
詳しくはホームページで www2.panasonic.biz/es

社会の繁栄に貢献する
価値のある創造

北日本電線株式会社

福島支社

〒960-8031 福島市栄町6番6号 NBF ユニックスビル5F
TEL 024-526-0141 FAX 024-526-0142

印刷：有限会社ライト印刷

〒975-0073
南相馬市原町区北新田字信田370-1
TEL.0244-22-6891
FAX.0244-22-6804